

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[1] 学習指導と進路指導の充実	①指導内容の精選や指導方法の工夫改善により、よくわかる授業を行うこととで学習意欲を高め、基礎基本の確実な定着を図るとともに、課題を発見し、自ら考える能力を育成する。  ②進路相談を充実し、個々の生徒に応じた支援をするとともに、集団の一員としての社会適応力や職業観を培い、生徒一人一人の進路実現を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
		①-1 教職員は様々な工夫をして授業に取り組んでいるの質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。		(評定)	
		①-2 授業に対して満足しているの質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。		(所見)	
		①-3 計画的な学習ができている、意欲を持って授業に取り組んでいるの質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。			
		①-4 授業時数の確保率を83%以上。			
		①-5 図書室の利用活性化のために、学期に2度、企画展などを行う。			
		②-1 一人一人に対応したきめ細かな進路指導が行われているという質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。			
		②-2 大学合格実績において、旧帝大等 難関10大学・医学部医学科合格を10%以上。			
		②-3 商業科において、全商1級3種目以上取得者40%以上、就職内定率100%。			
		活動計画	活動計画の実施状況		
①-1 相互授業参観や授業研究会、職員研修等を年間2回以上実施して授業力の向上を図る。					
①-2 電子黒板、生徒用タブレット等ICTの活用による授業、すなわちGIGAスクール構想を推進する。					
①-3,②-1 授業評価アンケートを行うことで目標達成度を評価し、その結果を授業改善につなげる。					
①-4 学校行事の精選、各学期末考査後の日程、授業実施曜日のバランス等、年間を通じての入念な計画を立て、授業時数確保に努める。					
①-5 図書室利用を増やすために各種企画を行うとともに、必要な図書を増やす。					

		② 教科のスポット補習を実施する。また、2週間に1回のペースでテストを始めとした遅進生徒の発見の手だてを講じ、生徒の学習指導を支援する。			
[2] 中高一貫教育の 充実	① 中高教職員の緊密な連携のもと、指導方法の工夫改善や教科横断的な学習の充実を図り、6年間の計画的・継続的な指導を行うなか、生徒の個性や能力を伸ばさ	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
		①-1 中高一貫教育研究委員会を年間2回以上。		(評定)	
		①-2 中高教職員による相互授業参観や事後研修会を年2回以上。			
		①-3 中高教職員による授業交流を複数の科目で実施。			
		①-4 中高合同教科会を各学期1回以上。			
		①-5 ESD(持続可能な開発のための教育)活動について連携し、中高合同の講演会や発表を年1回以上。			
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 有効で実施可能な案を事前に検討し、委員会では具体的な検討を行う。また、内進生の6年間成績の推移を用いて向上対策を検討する。			
		①-2 相互授業参観を1,2学期に各1回計画し、研究授業後の研修会への参加を呼びかける。			
		①-3 国語・数学・英語を中心に中学校の授業に高校教員が入ること、併設型中高一貫教育のメリットを活かした指導法や指導体制を検討する。			
①-4 各学期初めの職員会議後に中高合同教科会を行う。					
①-5 ESD活動(ユネスコスクールの取り組み)を推進する。					
[3] 豊かな心を育む 教育の推進	① 教育の全領域において、時間厳守、あいさつ、マナー等の基本的生活習慣を身につけさせるよう努める。	①-1 年間遅刻回数20回以上の生徒0人。登校日の遅刻者0人の日の割合を20%以上。		(評定)	
		①-2 身だしなみや挨拶、清掃がきちんとできていると自己評価する生徒の割合を90%以上。		(所見)	
		② 学校・家庭・地域社会との連携を深	②-1 生徒対象アンケートで「人権問題について意識し、差別をなくすために行動した		

	<p>め、豊かな人間性を身につけさせ、さまざまな人権問題の解決のため、主体的に取り組む能力・実践力の育成に努める。</p>	<p>い」とする回答が80%以上。</p> <p>②-2 保護者・教職員対象アンケートで「人権を尊重するための様々な取組が行われている」が80%以上。</p>				
		<p>活動計画</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			
		<p>①-1 多遅刻者には、保護者への連絡を密にする。</p>				
		<p>①-2 服装・頭髪・マナーについて集会やHRでの指導を通して自覚を高める。挨拶の励行や清掃活動への自主的な取組を促す。</p>				
		<p>②-1 人権教育ホームルーム活動を充実させ、展開等の工夫をする。また、月1回の「富東人権の日」に「富東人権新聞」やアピール放送を使って啓発する。</p>				
		<p>③-2 校内研修会を企画し、教職員の人権意識を高める。また、「富東人権新聞」を保護者にも読んでもらい、人権意識の高揚を図る等の継続的な啓発を行う。</p>				
<p>[4] 特別活動の充実</p>	<p>①部活動や生徒会活動等において、生徒の自主的活動の育成を図るとともに、活力あふれる学校づくりに努める。</p> <p>②環境問題への意識高揚と校内環境美化に努めるとともに、安全教育の徹底と健康増進の積極的指導に努める。</p>	<p>評価指標</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>		
		<p>①-1 生徒会新聞を年間3回以上発行。今年は特に部活動にスポットを当てPR。</p>		<p>(評定)</p>		
		<p>①-2 球技大会のアンケートで満足度を80%以上。</p>				
		<p>②-1 避難訓練を各学期1回以上。</p>				
		<p>②-2 アンケートで「校内美化活動に積極的に取り組んでいる」の割合が80%以上。</p>				
		<p>②-3 電気・水道使用量を昨年度より5%削減。</p>				
		<p>②-4 保健だより等を月1回発行。</p>				
		<p>②-5 規則正しい生活習慣を確立するための指導を1,2年生を対象に年2回実施。</p>				
		<p>活動計画</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			
		<p>①-1 部活動・生徒会活動を活発にする。</p>				
		<p>①-2 球技大会はアンケートで種目を決定し、生徒が主体的に運営する。</p>				
		<p>②-1 生徒防災委員長がアピール放送を行い、防災意識を高める訓練を行う。</p>				

		<p>②-2 毎日の清掃活動を「5分前」に取りかかる姿勢を身につけさせる。また、モノを大切に使う精神や分別作業を徹底するため啓発活動を積極的に行う。</p> <p>②-3 電気・水道使用量を広報し、節電・節水を呼びかける。</p> <p>②-4 生徒保健委員会を活用し、保健だよりを作成する。</p> <p>②-5 生活習慣改善プロジェクトを活用し、睡眠や肥満予防についての指導を実施する。</p>			
<p>[ 5 ] 家庭・地域社会との連携による「社会に開かれた教育課程」の推進</p>	<p>① 情報公開を積極的に行う。</p>	<p>評価指標</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>	
		<p>①-1 ホームページのアクセス数が年間 15 万件以上。</p>		(評定)	
		<p>①-2 ホームページの更新回数は、年間 300 回。</p>			
	<p>②-1 P T A 総会の保護者参加率 50 % 以上、文化祭一般公開日の来校者数 1,000 名。</p>				
	<p>② 家庭・地域社会と連携・協働しながら、生徒の能力を伸長する教育課程の実施に努める。</p>	<p>②-2 各学年の「保護者対象進路説明会」保護者参加率 60 % 以上。</p>			
		<p>②-3 地域との合同避難訓練の参加者数を 30 名以上。</p>			
		<p>③ 学校運営協議会を年間 2 回以上開催。</p>			
	<p>③ 学校評価や学校運営協議会制度を活用して、教育方法や学校運営の改善を図る。</p>	<p>活動計画</p>	<p>活動計画の実施状況</p>		
		<p>①-1 生徒や保護者には、定期的にHPを閲覧するよう呼びかける。</p>			
		<p>①-2 学校行事や部活動実施後に更新する。</p>			
<p>②-1 生徒・保護者・地域社会・学校が一体となって、充実した教育活動が実践できるよう努める。</p>					
<p>②-2 進路に関する情報提供を積極的に行う。</p>					
<p>②-3 自主防災組織との合同訓練を行うことで、地域との連携を図り、共助の精神を養う。</p>					
<p>③ 学校評価アンケートを2学期末に実施し、その結果をもとに3学期に学校運営協議会を開催する。</p>					
[ 6 ]	<p>評価指標</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>		

伝統を受け継ぐ  
さわやかな校風  
の樹立

① 文武両道を遂行し、礼儀正しく「さわやかで活力あふれる富東」の精神を高める。

② 地域社会の期待に応えるとともに清潔な環境の中で、心のふれあう校風を樹立する。

① 学校評価アンケートで「友だちや先生方にきちんとあいさつができています」について「おおよそ当てはまる」以上を 90% 以上。

② 学校周辺や避難経路の清掃を各クラスで年 2 回以上実施。

活動計画

活動計画の実施状況

① 生徒会や生活委員会のあいさつ運動活動を活性化させ、生徒から自発的に挨拶ができるよう働きかける。

② HR 活動でゴミゼロ運動の日を設定し、学校周辺の校外清掃活動に取り組む。